

東京都における転入超過の減少要因 に係る調査報告

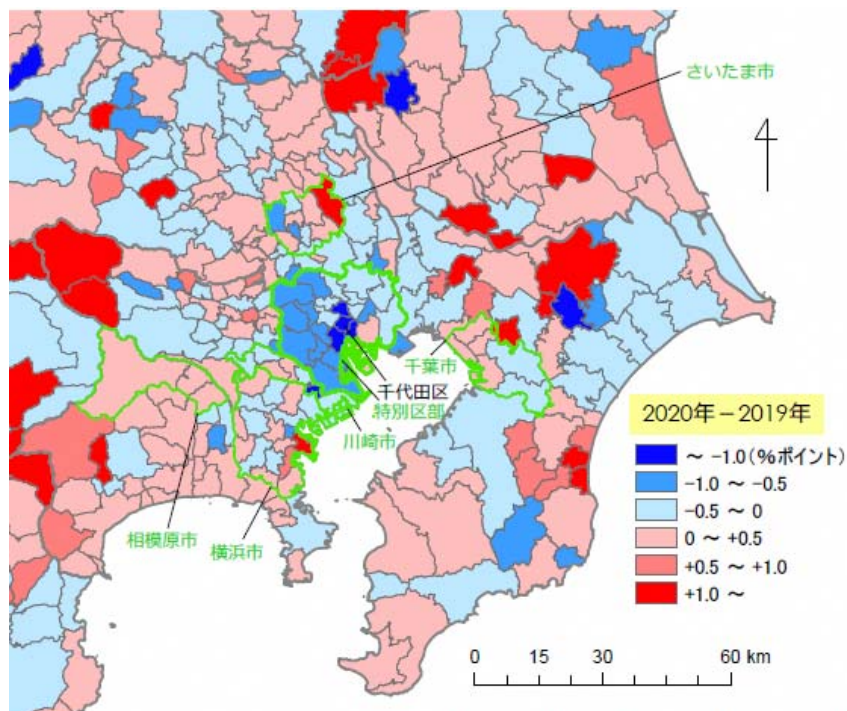


株式会社 エックス都市研究所
EX Research Institute Ltd.
Environmental and Regional Planning, Research and Consulting

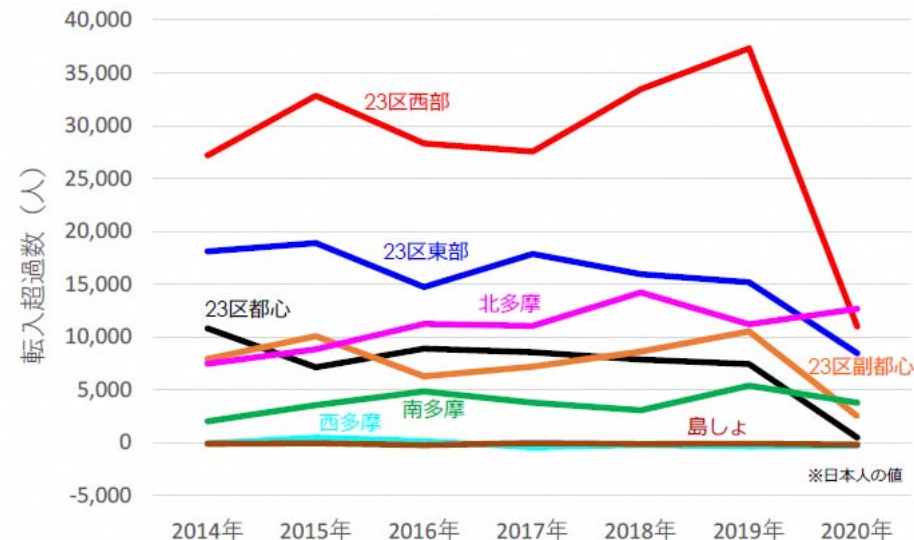
1. 東京都の地域別転入超過数の推移

- 区市町村別の転入超過率（転入超過数/人口）について、2019年（コロナ前）と2020年（コロナ禍）の差をみると、東京都区部や区部に近い地域において減少している。
- 東京都の地域分類別転入超過数の推移をみると、区部はいずれも2019年（コロナ前）と2020年（コロナ禍）にかけて、大幅に縮小している。

【東京都の区市町村別、2020年と2019年の転入超過率の差】 【東京都の地域分類別転入超過数の推移】



資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」



資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

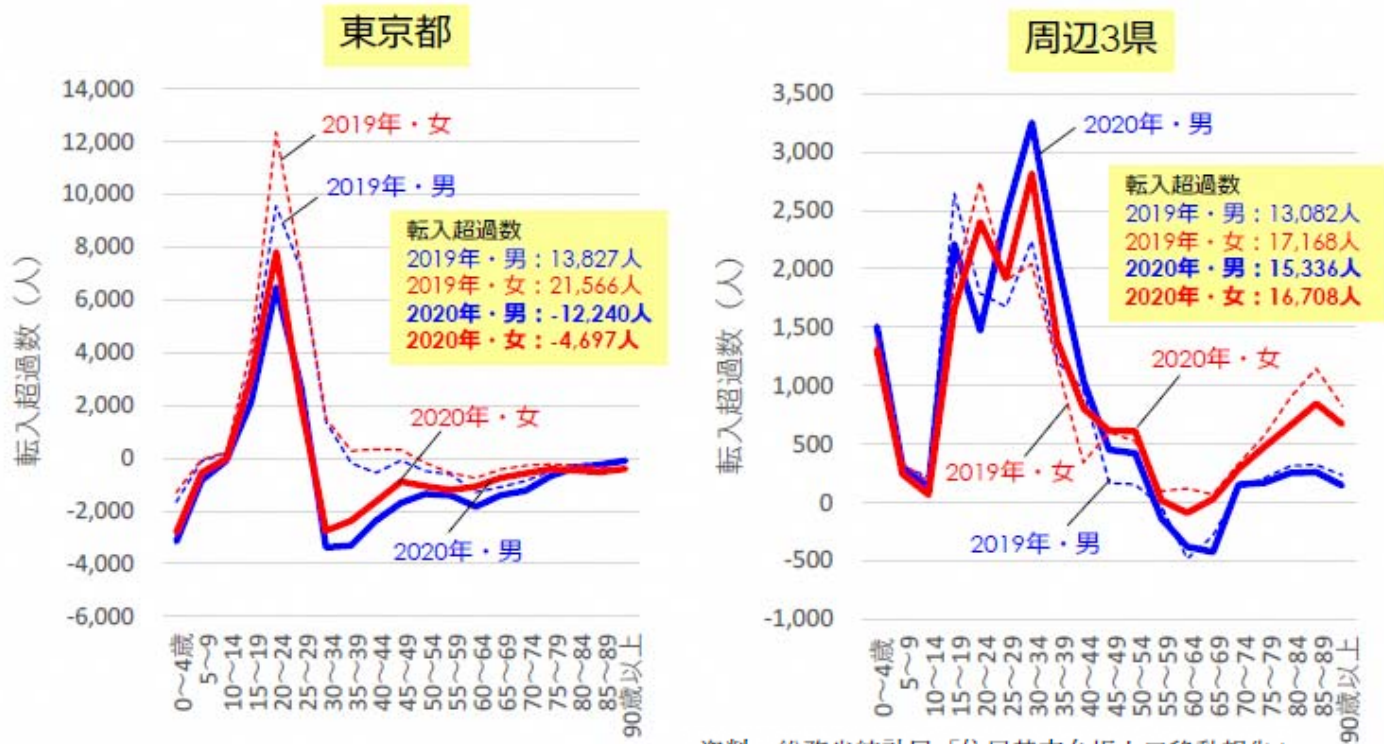
- 23区都心：千代田区，中央区，港区
- 23区副都心：新宿区，文京区，渋谷区，豊島区
- 23区西部：品川区，目黒区，大田区，世田谷区，中野区，杉並区，練馬区，板橋区，北区
- 23区東部：台東区，墨田区，江東区，足立区，葛飾区，江戸川区
- 北多摩：立川市，武蔵野市，三鷹市，府中市，昭島市，調布市，小金井市，小平市，東村山市，国分寺市，国立市，狛江市，東大和市，清瀬市，東久留米市，武蔵村山市
- 南多摩：八王子市，町田市，日野市，多摩市，稲城市
- 西多摩：青梅市，福生市，羽村市，あきる野市，瑞穂町，日の出町，檜原村，奥多摩町

上記以外に、島しょ（大島町，利島村，新島村，神津島村，三宅村，御蔵島村，八丈町，青ヶ島村，小笠原村）がある。

2. 東京都と周辺3県の年齢別転入超過数（2019年、2020年）

- 東京都では、男女ともほぼ全年齢で2020年（コロナ禍）が2019年（コロナ前）を下回り、とりわけ20～30歳代の減少が大きい。一方で、随伴移動が想定される子ども（0～9歳）はさほど減少していない。
- 周辺3県では、2020年（コロナ禍）において、男女とも20～30歳代は増加しており、子ども（0～9歳）についてはほぼ同水準である。
- 比較的若年の若者の単身あるいは夫婦のみ世帯を中心に、都区部への流入ではなく周辺3県への流入がうかがえる。

【4～12月の年齢別転入超過数（2019年、2020年）】



3. 地域別の転入超過数（2019年、2020年）

- 東京都では、周辺3県の転出超過数が2020年（コロナ禍）に大きく拡大し、その他地域からの転入超過数は大きく縮小している。
- 周辺3県では、転入超過数はほぼ同水準であるが、東京都からの転入超過数は大幅に増加し、東京都以外からはどの地域も減少している。
- 都心から周辺3県への人口移動が活性化したことがうかがえる。

【東京都と周辺3県の4～12月の地域別転入超過数（2019年、2020年）】



北関東甲信静：茨城、栃木、群馬、山梨、長野、静岡
 その他：東京圏、名古屋圏、大阪圏、北関東甲信静以外の道県

東京圏外では感染者の割合の高い東京圏へ移動を控える動き、
 東京圏ではテレワークの普及に伴う都心から郊外への移住の動き（一部は北関東などの東京圏外に転出する動き）などが、傾向に現れてる。

資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」